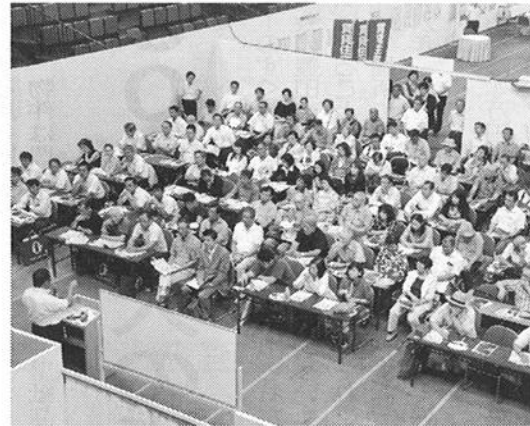


県外在住オーナーも多数来場

賃貸住宅ミニフェア 2012 in 鹿児島

全国賃貸住宅新聞社は9月4日(火)、鹿児島市内の鹿児島アリーナで「賃貸住宅フェアin鹿児島」を開催した。出展ブースは35社66ブース。セミナーは12講座。初開催となった会場には、県内外から953名が来場した。

▶初開催の会場ながら、ブースの飾り付けはどの企業も華やかだった



▶さまざまな埋まったセミナー会場

「火山灰対策」求めブース

オーナーも物件の 巡回行すべきと実感

70戸を所有する鹿児島市在住の児玉万里子オー

ナーは所有物件の改装を検討しており、そのヒントを探するために来場した。喜努愛桑大家の会の久保力也代表のセミナーを聴講し、気付かされた点があったという。

「台風の後など物件に影響がありそうな場合には、オーナーも自分の物件を見に行かなければならないのだという話を聞き、納得しました」と児玉オーナー。管理会社に

任せっぱなしにするのではなく、自分の物件の状態を把握しておくのもオーナーの仕事のひとつだと痛感させられた。改装に関しては、所有物件のいくつかは築年数が古く、浴室設備を新しくしたいと考えている。

人気設備 地域で

鹿児島市で60

鹿野猛オーナーの下落が進む状況に数年先を見ながら、する必要があり、集を目的に来た。既存の物件をインターネットの無料サービスで見ている。入居であれば空室対策が、ファミリーに効果が薄いと

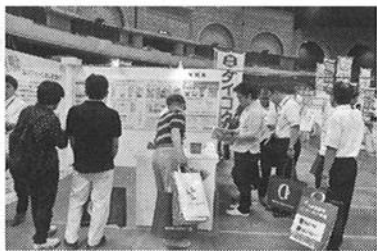
▼熱心に耳を傾ける来場者の姿



▶人気キャラクター「ユーミーマン」参上



▶商品を手に取り、比較検討する人々



にどこかのネットに加入しているようです。ネットがない人にとっては「すし」と脇野オ入居者層によって異なるため、無望の分析が必要とされている。家族連れ追いたき機能や音きのの方が反応がた。太陽光パネルを見学したが、一考が必要との「鹿児島は火山置してどれだけおるのかよくわかっています」(吹)